

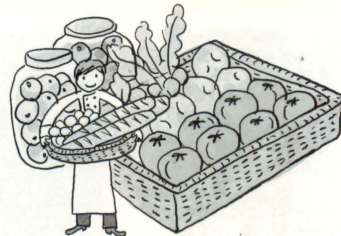
		【モーニング】10:30～ 昭和の銀幕に輝くヒロイン	【メイン】 昭和の銀幕に輝くヒロイン 総集篇 2			
10月	5[日] - 7[火]	〈香山美子〉 三匹の侍 (93分)	12:50 (96分) しとやかな獣	2:50 (93分) 清作の妻	4:50 (108分) からみ合い	7:10 (96分) しとやかな獣
	8[水] - 11[土]		12:50 (93分) 清作の妻	2:50 (108分) からみ合い	5:10 (103分) 内海の輪	7:20 (83分) 接吻泥棒
	12[日] - 14[火]	〈香山美子〉 にっぽんばらいす (92分)	1:00 (103分) 内海の輪	3:10 (83分) 接吻泥棒	5:00 (104分) 帰郷	7:10 (96分) 彼奴を逃すな
	15[水] - 18[土]		1:00 (104分) 帰郷	3:10 (96分) 彼奴を逃すな	5:10 (101分) わが生涯のかゝやける日	7:20 (87分) 明日の幸福
	19[日] - 21[火]	〈香山美子〉 この声なき叫び (101分)	1:00 (101分) わが生涯のかゝやける日	3:10 (87分) 明日の幸福	5:00 (103分) 赤坂の姉妹より 夜の肌	7:10 (81分) 三味線とオートバイ
	22[水] - 25[土]		1:00 (103分) 赤坂の姉妹より 夜の肌	3:10 (81分) 三味線とオートバイ	5:00 (88分) 喜劇 嫉妬	7:00 (96分) 春婦傳
	26[日] - 28[火]	〈香山美子〉 侠勇の花道 ドス (83分)	1:00 (88分) 喜劇 嫉妬	3:00 (96分) 春婦傳	5:00 (94分) 白子屋駒子	7:00 (87分) 斑女
	29[水] - 1[土]		1:00 (94分) 白子屋駒子	3:00 (87分) 斑女	5:00 (100分) 女舞	7:10 (92分) 涙を、獅子のたて髪に
	2[日] - 4[火]	〈香山美子〉 命果てる日まで (89分)	12:50 (100分) 女舞	3:00 (92分) 涙を、獅子のたて髪に	5:00 (74分) くちづけ	6:50 (113分) 馬喰一代
	5[水] - 8[土]		12:30 (119分) 甘い汗	2:50 (74分) くちづけ	4:30 (113分) 馬喰一代	6:50 (119分) 甘い汗

ラピュタシネマクラブのご案内

皆様によりたくさんの映画をご覧いただければと、「ラピュタシネマクラブ」では随時会員を募集しております。会員割引、ポイントサービス、インフォメーションの送付など...、お得な特典がいっぱいです! 当館受付にてお申し込みいただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

海と山の自然豊かなフレンチベースの料理店

山猫軒

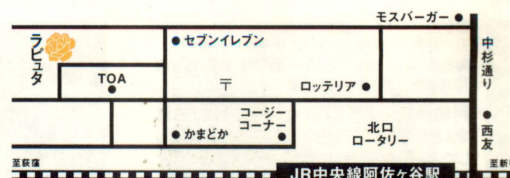


ラピュタの劇場の上にあるレストラン「山猫軒」は、無農薬野菜と産地直送の魚など、素材にこだわったフレンチベースの料理店。3階の吹き抜けや、4階からの眺望はとても開放的です。50席のゆったりとした空間で丹念に手をかけた料理をお楽しみください。

ランチ/11:30～3:00 (L.O. 2:00) デイナー/6:00～10:30 (L.O. 9:00)
山猫軒 [ラピュタ劇場上/3・4F] ご予約・お問合せ...TEL:03-3336-5445

【当日】 一般...1,200円 シニア・学生...1,000円
会員...800円 3回券...2,700円
水曜サービスデー...1,000円均一

●各回定員入れ替え制 ●午前10時15分より当日の全回分の整理番号付き入場券を発売します。定員48名になり次第、締め切らせていただきます。●上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りさせていただきます。●作品により画像、音声が必要しも良好でない場合がございます。あらかじめご了承下さい。



ラピュタ阿佐ヶ谷 TEL:3336-5440 JR中央線阿佐ヶ谷駅北口徒歩2分
http://www.laputa-jp.com/



伝説の美女、魅惑の競演

昭和の銀幕に輝くヒロイン

総集篇2

2008年10月5日[日] - 11月8日[土] ラピュタ阿佐ヶ谷

若尾文子『しとやかな獣』『清作の妻』 岸恵子『からみ合い』 岩下志麻『内海の輪』
 団令子『接吻泥棒』 津島恵子『帰郷』『彼奴を逃すな』 山口淑子『わが生涯のかゝやける日』 久我美子『明日の幸福』
 淡島千景『赤坂の姉妹より 夜の肌』 桑野みゆき『三味線とオートバイ』 高峰三枝子『喜劇 嫉妬』
 野川由美子『春婦傳』 山本富士子『白子屋駒子』 岡田茉莉子『斑女』『女舞』 加賀まりこ『涙を、獅子のたて髪に』
 野添ひとみ『くちづけ』 京マチ子『馬喰一代』『甘い汗』

昭和の銀幕に輝くヒロイン総集篇2

2008年10月5日(日)～11月8日(土)

若尾文子

しとやかな獣

10.5[日]ー7[火]

1962年(S37)／大映東京／カラー／96分



■監督：川島雄三／原作・脚本：新藤兼人／撮影：宗川信夫／美術：柴田篤二／音楽：池野成
■出演：伊藤雄之助、山岡久乃、浜田ゆう子、船越英二、山茶花究、小沢昭一、高松英郎

金のためにモラルなど捨て去った人々の騙しあい、せめぎあいが、狭い公団住宅の室内で展開する実に痛快なブラック・コメディ。若尾文子は、男を手玉にとり金を巻き上げる悪女役に、ローレン・バコール風のヘアスタイルで挑戦。

若尾文子

清作の妻

10.5[日]ー11[土]

1965年(S40)／大映東京／白黒／93分



■監督：増村保造／脚本：新藤兼人／原作：吉田紘二郎／撮影：秋野友宏／美術：下河原友雄
■出演：田村高廣、殿山泰司、成田三樹夫、清川玉枝、潮万太郎、紺野ユカ

故郷の村へ戻ってきた元妾のお兼は、村八分同然の差別の中、模範青年の清作と結ばれる。やがて日露戦争が激化。愛する夫を戦地へやるまいと彼女は恐ろしい行動に…。数々の傑作を放った増村×若尾コンビが凄まじいばかりの女の愛を描きだした傑作。

岸恵子

からみ合い

10.5[日]ー11[土]

1962年(S37)／にんじんくらぶ／白黒／108分



■監督：小林正樹／脚本：稲垣公一／原作：南条範夫／撮影：川又昂／音楽：武満徹
■出演：仲代達矢、川津祐介、芳村真理、渡辺美佐子、山村聰、滝沢修、宮口精二、千秋実

余命いくばくもない実業家の財産を狙う人々が、虚々実々の争いを繰り広げる。最後に笑うのは誰か？人間愛を追求した白熱のサスペンス・ドラマ。南条範夫の書き下ろし長篇小説を映画化したもので、最高の演技陣が熱演の火花を散らす。

岩下志麻

内海の輪

10.8[水]ー14[火]

1971年(S46)／松竹／カラー／103分



■監督：斎藤耕一／脚本：山田信夫、宮内婦貴子原作：松本清張／撮影：竹村博／音楽：服部克久
■出演：中尾彬、三國連太郎、滝沢修、加藤嘉、入川保則、水上竜子、夏八木勲、赤座美代子

四国松山の老舗呉服屋に嫁ぎながらも、前夫の弟と逢瀬を続ける美奈子。しかし、不倫が明るみにでることを怖れた男は、やがて美奈子の殺害を企てる…。男のエゴと女の情念をサスペンス豊かに描いた一篇。岩下志麻が濃密な愛欲描写にも挑戦している。

団令子

接吻泥棒

10.8[水]ー14[火]

1960年(S35)／東宝／カラー／83分



■監督：川島雄三／脚本：松山善三／原作：石原慎太郎／撮影：中井朝一／音楽：黛敏郎
■出演：宝田明、新珠三千代、草笛光子、北あけみ、中谷一郎、河津清三郎、有馬一郎

女たらしの人気ボクサーをめぐる、女子高生、バーのマダム、ファッションデザイナー、ナイトクラブのショウダンサーと、四人の女性が猛烈な恋のタイトルマッチを繰り広げる。惚れた男を手に入れるため、次々と大胆な行動にでるヒロイン・団令子が可愛い。

津島恵子

帰郷

10.12[日]ー18[土]

1950年(S25)／松竹大船／白黒／104分



■監督：大庭秀雄／脚本：池田忠雄／原作：大佛次郎／撮影：生方敏夫／美術：浜田辰雄
■出演：佐分利信、木暮実千代、三宅邦子、山村聰、柳永二郎、高橋貞二、徳大寺伸

軍の金を費消した罪を負って、戦後も海外にとどまっていた男が、十数年ぶりに帰国したことから起こるさまざまな波紋……。大佛次郎の新聞連載小説を映画化したもので、津島恵子は美しく成長した娘の役。京都・苔寺での父娘再会シーンが印象深い。

津島恵子

彼奴を逃すな

10.12[日]ー18[土]

1956年(S31)／東宝／白黒／96分



■監督：鈴木英夫／脚本：村田武雄／撮影：三浦光雄／音楽：芥川也寸志
■出演：木村功、志村喬、東郷晴子、宮口精二、沢村宗之助、土屋嘉男

夫はラジオ修理、妻は洋裁で生計をたてながら、つましく暮らしている藤崎夫婦。そんな夫婦を突然の事件が襲う。善良な若夫婦が殺人犯の顔を目撃したこと生活が一変、命まで狙われる恐怖を描いた傑作サスペンス。

山口淑子

わが生涯のかゞやける日

10.15[水]ー21[火]

1948年(S23)／松竹大船／白黒／101分



■監督：吉村公三郎／脚本：新藤兼人／撮影：生方敏夫／美術：浜田辰雄
■出演：森雅之、滝沢修、宇野重吉、清水将夫、井上正夫、加藤嘉、逢初夢子、村田知英子

暗黒街の用心棒として自棄的な生活をおくる元青年将校と、父の仇とも知らず彼を愛するようになる娘。戦争によって深い悲しみを背負った人々が、戦後の混乱した社会の中で生きてゆくこととする姿をメロドラマティックに展開。濃厚なキスシーンが話題に。

久我美子

明日の幸福

10.15[水]ー21[火]

1955年(S30)／東京映画／白黒／87分



■監督：瑞穂春海／脚本：長瀬喜伴／原作：中野実／撮影：三村明／音楽：斎藤一郎
■出演：上原謙、小泉博、水谷八重子、木暮実千代、三宅邦子、小堀誠

三代の夫婦がそろそろ松崎家。政界の大物たる祖父が殊のほか大事にしている家宝のハニワ、実は足が折れていて…。自分が壊したのかもしれないと思い込み、どうにか修復しようと奮闘する家族の面々。三世代同居の大家族が家宝をめぐる巻き起こす人間喜劇。

淡島千景

赤坂の姉妹より 夜の肌

10.19[日]ー25[土]

1960年(S35)／東京映画／カラー／103分



■監督：脚本：川島雄三／脚本：八住利雄、柳沢類寿／原作：由起しげ子／撮影：安本淳
■出演：新珠三千代、川口知子、久慈あさみ、三橋達也、フランキー堺、伊藤雄之助、山崎潤

舞台は赤坂の歓楽街。高級バー“しいの美”のマダム・夏生、その妹の秋江、冬子という三姉妹の、それぞれ対照的な生き方をつづった女性映画。淡島千景は、バーのマダムである長女を貴族たっぷりに演じている。

桑野みゆき

三味線とオートバイ

10.19[日]ー25[土]

1961年(S36)／松竹大船／カラー／81分



■監督：篠田正浩／脚本：柳井隆雄／原作：川口松太郎／撮影：小杉正雄／音楽：池田正義
■出演：川津祐介、月丘夢路、森雅之、瞳麗子、富永ユキ、柴田葉子、菅原文太

ボーイフレンドとツーリングに出かけた初子はトラックにはねられ怪我をする。病院に駆けつけた母は、医師の畔柳と二十年ぶりに再会。初子は二人の間にできた娘だった…。スピード狂のカミナリ娘と、小唄師匠の粹なママ。母娘の衝突と美しい愛情を描いた明朗篇。

高峰三枝子

喜劇 嫉妬

10.22[水]ー28[火]

1949年(S24)／松竹大船／白黒／88分 ※16mm



■監督：吉村公三郎／脚本：新藤兼人／撮影：生方敏夫／美術：森幹男／音楽：吉沢博
■出演：佐分利信、宇佐美淳、幾野道子、河村黎吉、三井弘次

封建的な家族制度のなかで奴隷のように虐げられてきた妻が、横暴な夫からの自立を試みる…。女性解放という題材を新藤兼人×吉村公三郎の名コンビが軽妙なタッチで描いたもの。高峰三枝子が、妻の微妙な心の変化を巧みに表現した。

野川由美子

春婦傳

10.22[水]ー28[火]

1965年(S40)／日活／白黒／96分



■監督：鈴木清順／脚本：高岩肇／原作：田村泰次郎／撮影：永塚一栄／美術：木村威夫
■出演：川地民夫、玉川伊佐男、小沢昭一、石井富士子、松尾嘉代

野川由美子がヒロインとした鈴木清順の女性映画三部作の一篇。第二次大戦下の中国大陸を舞台に、ひとりの兵士を全身全霊で愛した慰安婦の一途な姿を描く。野川由美子がヌードも辞さない女優魂で、鬼気迫る熱演をみせる。

山本富士子

白子屋駒子

10.26[日]ー11.1[土]

1960年(S35)／大映京都／カラー／94分



■監督：三隅研次／脚本：衣笠貞之助／原作：舟橋聖一／撮影：今井ひろし／美術：内藤昭
■出演：小林勝彦、近藤美恵子、千秋実、島田竜三、中村錦之助、細川ちか子、村上不二夫

日本橋の材木問屋・白子屋の一人娘・駒子は、当代随一の美女として引く手あまた。だが、彼女の心は番頭の忠八にあった…。封建の世に、身分違いの恋に生き、散っていった女・白子屋駒子の波瀾にとんだ人生を、山本富士子主演で艶やかに描いたもの。

岡田茉莉子

斑女

10.26[日]ー11.1[土]

1961年(S36)／松竹大船／カラー／87分



■監督：中村登／脚本：権藤利英／原作：村松梢風／撮影：平瀬静雄／音楽：武満徹
■出演：佐々木功、芳村真理、倍賞千恵子、山村聰、杉浦直樹、沢村貞子、佐藤慶

村松梢風の『塔』『斑女』『残光』の三篇をまとめたもの。夫を捨てて義弟と駆け落ちした英子は、東京のナイトクラブで働くことに…。夜の世界の裏側で繰り広げられる様々な人間模様…。ナイトクラブのホステスを主人公とした女性篇。

おかげさまでラビュタ阿佐ヶ谷は、今秋、オープン10周年を迎えます。

これを記念して、当館の名物企画『昭和の銀幕に輝くヒロイン』シリーズの総集篇を開催。

今まで登場した女優のなかから29人、全40作品を前後篇に分けて上映いたします。

ご好評をいただいた作品を中心に、お客様からのリクエストなどを織りまぜて――。

伝説の美女たちの魅惑の競演、どうぞ、存分にご堪能ください。

岡田茉莉子

女舞

10.29[水]ー11.4[火]

1961年(S36)／松竹大船／カラー／100分



■監督・脚本：大庭秀雄／脚本：柳井隆雄／原作：円地文子、秋元松代／撮影：長岡博之
■出演：佐田啓二、若下志麻、千之鶴子、宮口精二、仲谷昇、三津田健、清川虹子

舞踏家の千弥が教を乞うた能役者・西川は、天才と称されながら女性関係についての噂がたえない。だが稽古を重ねるうちに、千弥もまた、彼の不思議な魅力にひかれていくのだった…。芸道と恋にはげしく燃える女の命……。岡田茉莉子の舞姿もみもの。

加賀まりこ

涙を、獅子のたて髪に

10.29[水]ー11.4[火]

1962年(S37)／松竹大船／白黒／92分



■監督・脚本：篠田正浩／脚本：寺山修司、水沼一郎／撮影：小杉正雄／音楽：武満徹
■出演：藤木孝、早川保、岸田今日子、山村聰、南原宏治、小池朝雄、神山繁、永田靖

舞台は横浜。港湾労働者を暴力で重労働させたうえ、ビンパネまでする港のダニ・サブ。彼は一人の純真な少女と知りあい、恋に落ちるのだが…。虫けらのような青年の凄惨な青春……。小妖精・加賀まりこのあどけなさが見事に可愛い映画デビュー作。

野添ひとみ

くちづけ

11.2[日]ー8[土]

1957年(S32)／大映東京／白黒／74分



■監督：増村保造／脚本：舟橋和郎／原作：川口松太郎／撮影：小原譲治／音楽：塚原哲夫
■出演：川口浩、三益愛子、小沢栄太郎、見明凡太郎、村瀬幸子、若松和子、清水谷薫

拘置所へ父の面会に訪れた欽一は、ある少女と出会う。二人はオートバイで海に向かい、波乗りやダンスに打ち興じたり、保釈金に心を痛めたり…。脳目もふらず突っ走る男女の青春をエネルギーに描いた傑作。野添ひとみが瑞々しい魅力を放つ。

京マチ子

馬喰一代

11.2[日]ー8[土]

1951年(S26)／大映東京／白黒／113分 ※16mm



■監督・脚本：木村恵吾／脚本：成沢昌茂／原作：中山正男／撮影：峰重義／美術：柴田篤二
■出演：三船敏郎、志村喬、菅井一郎、市川春代、杉狂児、星光、潮万太郎、左ト全

舞台は大正末から昭和にかけての北海道・北見の大高原。酒と賭博と喧嘩に明けられていた乱暴者の馬喰が、女房に死なれたのを機に、一人息子を男手ひとつで育て上げる。京マチ子が、荒っぽい馬喰に想いを寄せる酌婦を熱演。

京マチ子

甘い汗

11.5[水]ー8[土]

1964年(S39)／東京映画／白黒／119分



■監督：豊田四郎／原作・脚本：水木洋子／撮影：岡崎宏三／美術：水谷浩／音楽：林光
■出演：佐田啓二、桑野みゆき、池内淳子、小沢栄太郎、山茶花究、名古屋章、小沢昭一

十代で私生児を産み、水商売の世界を転々としながら、三十六歳の今日まで一人で家族を養ってきた女……。下町の雄大な風景のなか、京マチ子がバイタリティー溢れる凄まじい熱演をみせ、岡崎宏三のカメラがその存在を生々しく捉えている。